

くずは

2018. 7. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題 巣箱の守り神?

くずはの家の前にある「カメラ付き巣箱」は、今年、設置から12年で初めて、シジュウカラが2回営巣(異なるペアです)しました。しかし、1回目の営巣では孵化した6羽の雛全てが、2回目の営巣では最初に産んだ2個の卵がアオダイショウに食べられてしまいました。(このペアはその後4個の卵を産み4羽の雛が孵化して、無事巣立ちました。)

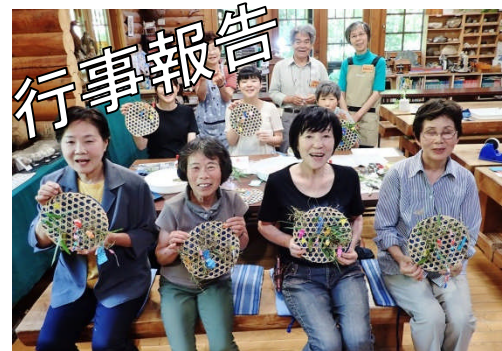
この4羽の雛が孵化した頃、巣箱の裏側に“守り神”が住み着くようになりました。その守り神とは漢字で「家守」あるいは「守宮」と書くニホンヤモリのことです。

ヤモリは爬虫類の仲間です。トカゲに近い形をしています。ときどき、イモリと混同している方もいらっしゃるようですが、イモリは漢字では「井守」と書くように水の中に棲む両生類です。

ヤモリの特徴は何と言っても、壁や天井を自由に這い回れるその足にあります。つるつるのガラスの窓さえ歩けるのですから何とも凄い能力です。ヤモリの足は5本の指それぞれの先端が広がり、一見するとカエルの指のような吸盤になっているように見えます。ところがその

指を裏から見ると吸盤ではなく、細かい襷(ひだ)状になっているのが分かります。ここから先は肉眼では見えないので電子顕微鏡で拡大してみると、足の指の襷には多数(一本の足で約50万本)の剛毛が生えていて、その剛毛一本一本に(100~1000本)の先の広がった細かい毛が生えているのが見えます。この毛を壁や天井、ガラスに密着させると、壁の物質をつくっている分子と指の毛の分子との間に弱い引力が働き、この弱い力をたくさん合わせることで体重50gもある大きなヤモリでさえ天井に張り付くことができるのです。この張り付く仕組みは2000年に解明されました。また、歩くためには素早く剥がさなければなりません。剥がす仕組みが分かったのはなんと2014年なんだそうです。





6/7 小さな季節の飾り作り(七夕) 7人

6/23 見たい、知りたい、虫の世界 27人

6/24 きのコウォッチング 16人

- 参加者の声**
- ・キラキラのラメに星が天の川となり細かい作業でしたが、素敵な七夕飾りを作り上げることができました。七夕のお話し素敵でした。星空を見る楽しみがまた一つ増えました。(小さな季節の飾り作り)
 - ・オオムラサキの幼虫と蝶を初めて見ました。羽を広げて準備運動をして空に飛び立って行ったのには感動しました。
 - ・タマムシがどこから生まれてくるのか初めてよくわかってびっくりしました。(見たい、知りたい、虫の世界)
 - ・きのこは秋にいっぱい生えるものと思っていましたが、梅雨にこんなにいっぱい生えるとは思っていませんでした。秦野にこんなに多くの種類のきのこがあったのにはびっくりしました。
 - ・いつも写真にとるだけでしたが、知っている方に教わると楽しいですね(きのコウォッチング)

これからのくずはの家の行事

昼の行事: 小学2年生以下は保護者同伴

夜の行事: 小学生保護者同伴

住所: 阿木二郎氏

日時	テーマ	講師・指導	定員・費用	受付開始
7月21日 ~8月25日	夏休み自然教室 詳細は下記のプログラム参照	申し込み方法 7/1~10 電話・メールで。 応募者多数の場合は抽選。10日に定員に満たない行事は引き続き受け付けます。		
8月15日(水) ~19日(日) 9:30~16:30	特別展示 阿木二郎さんのポスターでたどる くずはの家の20年		秦野市立 宮永岳彦記念美術館	
8月18日(土) 13:30~15:30	阿木二郎さんの石ころ絵教室 in 宮永岳彦記念美術館	阿木二郎 氏	小学生以上 20人	7月15日

雛が巣立ってから10日ほどして、巣箱を架けた木にまたアオダイショウが登ってきました。アオダイショウが巣箱にたどり着いたとたん、巣箱の裏からヤモリが1匹一目散に逃げ出しました。ダメじゃん!家を守ってないじゃん!でも、この弱っちい“守り神”のおかげで2回目の雛は無事巣立つことができたと思えます。

文・写真: くずはの広場所長 高橋孝洋

くずはの家のボランティア活動

★6月の活動

定例活動 6/3(日)夏になると繁茂して困っているアレチウリの除去、ウメの実の収穫を行いました。6/21(木)秦野総合高校よりレンガ(約500枚)とパレット2枚を駐車場に運びました。

花壇の会 6/7(木)花壇の草取りと解説プレートの相談をしました。

とんぼのせせらぎ 6/28(木)とんぼのせせらぎの水路とほたるの里の草刈りをしました。ほたるの新道の凹んでいる所に砂利を入れて歩きやすくしました。

★これからの活動

- ・花壇の会 8/2(木)6:30集合
- ・定例7/19(木)、とんぼのせせらぎ7/26(木)。両活動とも8月はお休みです。

★通常の活動時間は9:30~12:00です。

夏休み自然教室 プログラム

- ①顕微鏡でプランクトンを見よう 7/21(9時半~11時半) 小学生以上20人
- ②親子で水遊び 7/22(9時半~12時) どなたでも40人
- ③水生生物室 7/24(9時~12時) 小学生24人(東公民館・金目川) 保険代50円
- ④コウモリの観察会 7/28(18時~20時) 小学生以上30人
- ⑤葉っぱのたたき染めに挑戦 7/29(9時半~12時) 小学生以上20人
- ⑥セミの羽化観察 7/29(18時半~20時半) 小学生以上30人
- ⑦名水フェスティバル・学んで作る自分だけの「おいしい秦野の水」 8/1(13時15分~14時15分) 小学生30人(秦野市文化会館)
- ⑧ちびっこあつまれ・虫さがし 8/4(10時~11時半) 3~6歳の幼児と保護者20人
- ⑨子ども工作教室 8/5(9時半~11時半) 小学生20人
- ⑩有孔虫の化石を探そう 8/11(9時~13時半) 小学生以上30人(松田町・川音川) 保険代50円
- ⑪夏の昆虫観察 8/25(9時半~11時半) 小学生以上30人

行事へのお申し込み・お問い合わせは
電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874
E-mail, kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

8月の休館日 8月6日、13日、14日、20日、27日
http://www.city.hadano.kanagawa.jp/
秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家ホームページがあります!

くずはの広場観察路マップ

2018年6月1日調べ

①～⑭には観察板があります。
回ってみましょう！

- 凡例
- △ つぼみ
 - ▲ 咲き始め
 - 開花
 - ◎ 満開
 - 咲き終わり
 - ◇ 実
 - ◆ 熟した実



アオバズク (撮影:岡根氏)



ニワゼキショウ

5月の野鳥

(5月2日～6月1日調べ)

- 1、カルガモ
- 2、キジバト
- 3、ホトギス
- 4、ツツドリ
- 5、アオバズク
- 6、カワセミ
- 7、コゲラ
- 8、アオゲラ
- 9、オナガ
- 10、ハシボソガラス
- 11、ハシブトガラス
- 12、ヤマガラ
- 13、シジュウカラ
- 14、ツバメ
- 15、イワツバメ
- 16、ヒヨドリ
- 17、ウグイス
- 18、エナガ
- 19、メジロ
- 20、ムクドリ
- 21、キビタキ
- 22、スズメ
- 23、キセキレイ
- 24、セグロセキレイ
- 25、カワラヒワ
- 26、イカル
- 27、コジュケイ
- 28、ガビチョウ

ピックアップ

5月の昆虫

- チョウ・ガの仲間
- モンキアゲハ
 - ナミアゲハ
 - アオスジアゲハ
 - ナガサキアゲハ
 - キタテハ
 - ツマグロヒョウモン
 - アカボシゴマダラ
 - サトキマダラヒカゲ
 - イチモンジチョウ
 - ヒカゲチョウ
 - クロヒカゲ
 - コジャノメ
 - ヒメジャノメ

- アカシジミ
- ミズイロオナガシジミ
- ゴイシシジミ
- ムラサキシジミ
- ダイミョウセセリ
- シンジュサン
- オオミズアオ
- ウンモンズズメ
- キイロスズメ
- マダラツマキリヨトウ
- クロマダラシロヒメハマキ
- ミダレカクモンハマキ
- ホソオビヒゲナガ

カフトムシの仲間

- コカブト
- コクワガタ
- クロハナムグリ
- アオハナムグリ
- ナナホシテントウ
- アミダテントウ
- シロスジカミキリ
- キマダラミヤマカミキリ

ハチ・アブの仲間

- イチモンジカメノコハムシ
- オオキイロマルノミハムシ
- オオスズメバチ
- キイロスズメバチ
- キボシアシナガバチ
- クロマルハナバチ

カメムシの仲間

- クロマルハナバチ
- ウマノオバチ
- ヒメウマノオバチ
- コンボウケンヒメバチ
- オオイシアブ
- オオツマグロハバチ
- エビイロカメムシ
- アカサシガメ
- シマサシガメ

- マルウンカ
- アワダチソウゲンバイ
- オオアメンボ
- ヒモワタカイガラムシ
- その他
- クロスジギンヤンマ
- シオヤトンボ
- ミヤマカワトンボの仲間
- カワトンボ
- ホリカワクシヒゲガガンボ
- ヘビトンボ
- ハラヒシバッター

くずはの広場トピックス

続・小鳥の巣箱生中継

蛇に襲われたシジュウカラの巣箱に、別のシジュウカラが入り繁殖。2個産んだときに再び襲われ、食べられてしまいました。しかし翌日から4個産卵し、無事孵化。危機を乗り越え只今懸命な子育てが続いています。

はんのき林のホタル…5月中旬

昨年からの渇水で全滅！と思われていた、はんのき林のゲンジボタルですが、5/22 とんぼのせせらぎの湧き出し口付近で4匹確認。その後少しずつ増え、30匹以上生き残っていました。ホタルの里では5/11初認。今年はこちらで観察会を行いました。